

ライオンズクラブ

We Serve

—— われわれは奉仕する ——



ライオンズクラブは、世界約210カ国、140万人、日本では13万人を超える会員で構成されている、世界最大の奉仕団体です。「ウィ・サーブ（われわれは奉仕する）」をモットーとして掲げ、世界の国々でさまざまな奉仕活動に取り組んでいます。

「社会の役に立ちたいが、何から始めればいいのかろう?」とお考えの方にとって、ライオンズクラブへの参加は最良の選択肢となります。

ライオンズクラブの一員となることで、社会に貢献しながら、自分の人生をより豊かに変えることができます。



ライオンズクラブの歴史

1917年

アメリカの実業家メルビン・ジョーンズが、**他者への奉仕を目的としてライオンズクラブ国際協会を創立**。その理念は多くの人の心をとらえ、世界各国にクラブが結成されていきました。



創始者メルビン・ジョーンズ

1945年

ライオンズクラブ国際協会は、サンフランシスコで開かれた**国際連合結成会議において主導的な役目**を果たしました。47年以来、国際経済社会理事会の民間諮問機関として活躍しています。

1952年

日本では、戦後**1952年3月にライオンズクラブが誕生**。その後、わずかの年月のうちに多数のクラブと会員を集め、現在では世界第3位のライオンズ国となっています。

1990年

世界中から予防可能あるいは回復可能な失明を根絶するためのプロジェクト「**視力ファースト・プログラム**」を開始。

2007年

ライオンズクラブは、イギリスの経済紙「フィナンシャル・タイムズ」が国連グローバル・コンパクトと協力して実施した**NGOの格付けで最高位**を獲得。

※NGOとは国際協力に携わる非政府組織、民間団体のことです。



NGO世界第1位

ライオンズクラブ

奉仕と友愛の心で結ばれた仲間



ライオンズクラブ国際協会 332-E地区
Lions Clubs International District 332-E

ライオンズの奉仕事業

平和ポスターコンテスト

地域への支援

青少年スポーツ

献血支援



奉仕活動の重点事業として「1万人献血運動」を推進し、2010年から10,000人献血を達成しています。これは山形県全体の1/4の献血者に当たります。



332-E地区 最優秀賞作品

毎年平和に関するテーマがあり、世界中の11才～13才迄の青少年が絵を通じて競い合う、グローバルなコンテストです。



施設への支援



地域創生フォーラム



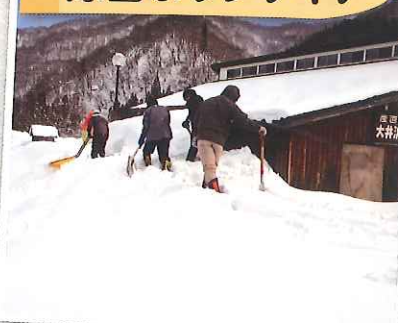
危険ドラッグ追放キャンペーン



地域マラソン大会



除雪ボランティア



被災地支援

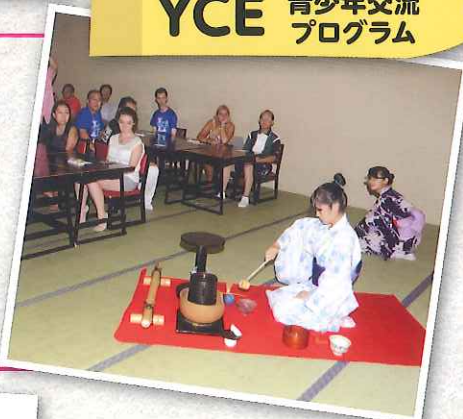


被災地での炊き出し(名取市関止仮設住宅)



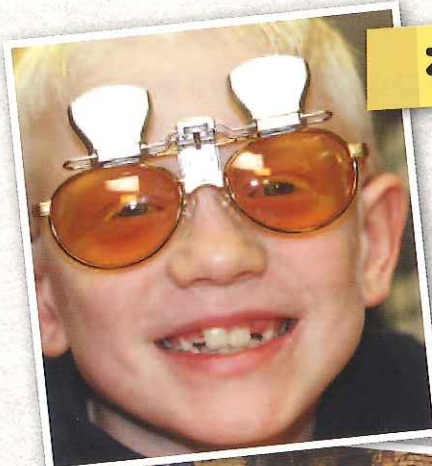
東日本大震災の被災地に、毎年県内の各クラブが支援をしています。

YCE 青少年交流プログラム



毎年、春・夏・冬休み期間を利用して、16才～21才迄の青少年に「世界の人々の間に相互理解の精神をつちかい発展させよう」との主旨で海外からの受け入れや海外への派遣を支援しています。

視力ファースト



世界中の視力保護のためのプログラムで、この20年間で300万人以上の人々を救っています。

食糧支援



献眼推進

ライオンズクラブは、クラブ設立以来、「眼」に関する奉仕をたくさんして来ました。アイバンクを山形に誘致したのもライオンズです。又、「白い杖」を世界に広めたのも私達です。山形の献眼活動もライオンズが主体となって行っています。

青少年の健やかな成長と薬物乱用防止を願って、企画されました。一般・教員・生徒にセミナーを実施しています。



ライオンズクエスト・プログラム

海外の途上国に学校や井戸・教科書などを支援しています。

